

岐阜聖徳学園大学大学院

国際文化研究科 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

国際教育文化専攻

国際文化研究科国際教育文化専攻は、本学が定める目的にのっとり、国内外の教育及びそれらの文化的背景を理解し、国際的視野を持って学校や教育機関等で活躍できる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。

- 1 高度な専門的知識を修得し、国内外の教育に携わることのできる人材を養成できるように、専門科目を配置します。
- 2 国際教育に関する実践力とコミュニケーション能力を修得できるように、外国語演習科目を配置します。
- 3 教育実践に関する具体的な問題解決能力を育成できるように、課題研究法を配置します。
- 4 論文または特定課題は、研究指導教育職員の指導を受け、年に一度の中間発表会での報告を経て、修士論文または特定課題研究報告書等として提出し、審査委員が審査します。

以上のカリキュラムが確実に遂行されるよう、大学院生による自己評価を教員も共有し、学校や教育機関等で活躍できる人材がもつべき知識・技能・態度を育みます。これらの学修成果については、指導教員が課題研究法Ⅰ～Ⅳにおいて進捗状況をチェックし、また1年次1回(中間)と2年次に2回(中間・最終)の公開発表会において教員全体で進行具合を確認・共有します。

国際地域文化専攻

国際文化研究科国際地域文化専攻は、本学が定める目的にのっとり、日本、アメリカ、中国及びその周辺地域の文化を深く理解し、またこれらの地域の言語を通じて国際的文化交流に積極的に関わることのできる人材の養成を目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。

- 1 日本、アメリカ、中国及びその周辺地域の文化に関する専門的知識を習得し、国際的文化交流に積極的に関わることのできる人材を育成できるように、専門科目を配置します。
- 2 日本、アメリカ、中国及びその周辺地域の文化理解および文化交流を進めるための実践力とコミュニケーション能力を修得できるように、外国語演習科目を配置します。
- 3 日本、アメリカ、中国及びその周辺地域に関する具体的な課題解決能力を育成できるように、課題研究法を配置します。
- 4 論文または特定課題は、研究指導教育職員の指導を受け、年に一度の中間発表会での報告を経て、修士論文または特定課題研究報告書等として提出し、審査委員が審査します。

以上のカリキュラムが確実に遂行されるよう、大学院生による自己評価を教員も共有し、国際的文化交流に積極的に関わることのできる人材がもつべき知識・技能・態度を育みます。これらの学修成果については、指導教員が課題研究法Ⅰ～Ⅳにおいて進捗状況をチェックし、また1年次1回(中間)と2年次に2回(中間・最終)の公開発表会において教員全体で進

行具合を確認・共有します。